

	安全データシート	
SatPax® 70% IPA / 30% DI H2O or WFI	2024年5月30 日	ページ1の11

日本国内法規JIS Z7252:2019、JIS Z7253:2019に適合。GHS 改訂 6 に準拠。

セクション 1: 化学品及び会社情報

化学識別子: SatPax ® 70% IPA / 30% DI H2O or WFI

その他の識別手段:

製品コード番号:

SPX1000.001.12, SPX1000.001.20, SPX100001212, SPX1200.001.12, SPX12000048, SPX12000098, SPX120007018, SPX12001218, SPX120R.001.12, SPX3000.001.12, SPX550.001.24, SPX550.003.36, SPX550.004.24, SPX550.005.36, SPX55000624LE, SPX55000924, SPX550070830, SPX570.001.24, SPX670090912, SPX670230912, SPX67091112, SPX670R.001.12, SPX670RBL00112, SPX680A00124, SPXC1000.01.12R, SPXC100000112, SPXC100000412, SPXC100000412R, SPXCCH500112, SPXCHN500112, SPXCHN500124, SPXCHN500T12, SPXCHN500T16R, SPXCHN5R00112, SPXCHN600112, SPXCHN6R00112, SPXCPNW00312, SPXCPNW00312R, SPXEC360P40, SPXHAR.001.12, SPXHAR.01.8, SPXMPNW500112, SPXMPNW500112R, SPXMPX2750012, SPXMSVP06B16, SPXPNW00112, SPXPWX098, SPXSWSEIR00112, SPXV1500.001.12, SPXVCLP00136, SPXVP.003.6R, SPXVP00112, SPXVP00112LE, SPXVP00312, SPXVP0048, SPXVPR00112, SPXVPR0124, SPXVSLP.003.12

SSP100000124, SSP120000224, SSP120000312, SSP12000047, SSP1200110WFI, SSP1200112WFI, SSP300000112, SSP55000424, SSP55000524, SSP55000524LE, SSP67000124, SSPCPVP0112, SSPEC360P40, SSPEC360P40P SPHA00112, SSPHA.001.12P, SSPMS015WFI, SSPMSVP028, SSPPNW00124, SSPVCLP00136, SSPVP00110LE, SSPVP00112LE, SSPVP00124, SSPVP00212LE, SSPVPR00124, SSPVPR0118

化学品の推奨用途:

推奨用途: さまざまな表面やコンポーネントの拭き取りと洗浄。
専門家による使用のみ。

使用制限: 上記以外の用途。

供給者の会社名称、住所及び電話番号:

本店

会社名: Berkshire Corporation
会社住所: 21 River Street, Great Barrington,
MA 01230, USA

会社の電話番号（お問い合わせ）: 1-800-242-7000

この SDS の責任者の E メールアドレス: ghs@berkshire.com

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号(受付時間):

CHEMTREC, APAC.: +65 3163 8374.

日本: +81 3-4520-9637

24/7

セクション 2: 危険有害性の要約

JIS Z 7252:2019 による分類:

GHS 危険記号:

Berkshire	安全データシート	
SatPax® 70% IPA / 30% DI H2O or WFI	2024年5月30 日	ページ2の11



分類:

[承認: m-nite-67-63-0]

可燃性の液体、カテゴリ 2

眼刺激性、カテゴリ 2

生殖毒性、カテゴリ 2

特定標的臓器毒性、単回ばく露、区分 1(中枢神経系、全身毒性)

特定標的臓器毒性、単回ばく露、区分 3(呼吸器の炎症)

特定標的臓器毒性、反復ばく露、区分 1(造血系)

特定標的臓器毒性、反復ばく露、区分 2(肝臓、呼吸器系、脾臓)

信号語:

危険

危険有害性情報:

H225 -引火性の高い液体および蒸気。

H319 -強い眼刺激。

H335 -呼吸器への刺激のおそれ。

H361 -生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い。

H370 -臓器の障害。

H372 -長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害。

H373 -長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害のおそれ。

注意書き:

安全対策:

P201 -使用前に取扱説明書を入手すること。

P202 -全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

P210 -熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。
禁煙。

P240 - 容器を接地しアースを取ること。

P241 -防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。

P242 -火花を発生させない工具を使用すること。

P243 -静電気放電に対する措置を講ずること。

P260 - じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

P264 - 取扱後はをよく洗うこと。

P270 - この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

P271 - 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

P280 -保護手袋/保護服/目の保護具/顔の保護具/聴覚保護具を着用してください

応急措置:

P303+P361+P353 -皮膚(または髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水[またはシャワー]で洗うこと。

P304+P340 -吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

P305+P351+P338 -眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P308+P311- ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。

P312 -気分が悪い時は毒物センター/医師に連絡すること。

	安全データシート	
SatPax® 70% IPA / 30% DI H2O or WFI	2024年5月30 日	ページ3の11

P321 - 特別な処置が必要である(SDS のセクション 4 から 8 およびこのラベルの追加情報を参照してください)。
P337+P313 - 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。
P370+P378 - 火災の場合: 水スプレー(霧)、二酸化炭素(CO2)、乾燥化学粉末または泡を使用して消火します。

保管: P403+P233 - 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
P403+P235 - 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
P405 - 施錠して保管すること。

廃棄: P501 - 内容物/容器を地方/地域/国の規制に従って廃棄すること。

他の危険有害性: 何も知られていません。

セクション 3: 組成及び成分情報

3.1 物質:

適用できない

3.2 混合物:

化学品の名称	CAS 番号	%	官報公示整理番号	
			化審法	安全衛生法 (ISHL)
イソプロピルアルコール	67-63-0	70%	102 ([(2)-207])	2-(8)-319

本製品の補足的な成分の中には、現在の知識の範囲および該当する濃度において、このセクションで報告が義務づけられている健康または環境に対して有害危険性であると分類される成分は含まれていません。

セクション 4: 応急措置

異なる暴露経路、すなわち吸入、皮膚および眼への接触、および摂取に応じて細分化された必要な措置の記述:

吸入した場合:

被害者を新鮮な空気のある場所へ連れ出し、呼吸しやすい姿勢で休ませること。煙霧が残存している疑いがある場合、救助隊は適切なマスクあるいは自給式呼吸器を着用しなければならない。医師の診察を受ける。必要に応じて医師に連絡する。

目に入った場合: すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。少なくとも 20 分間洗い流し続ける。医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合: 石鹸と水で洗い、よくすすぐ。痛みや刺激が生じた場合には医師の手当てを受けてください。

飲み込んだ場合: 水で口を洗浄する。空気のある新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。嘔吐すると危険なことがあるので、もし被

	安全データシート	
SatPax® 70% IPA / 30% DI H2O or WFI	2024年5月30 日	ページ4の11

災者の気分が悪くなったらそれ以上水を飲ませてはならない。吐かせてはいけません。もし嘔吐が起きた場合は嘔吐物が肺に入らないように頭を低い位置に保つ。暴露後または気分が悪いときは医師の手当てを受けること。中毒情報センターまたは医師に問い合わせ、治療のアドバイスを得る。意識がない場合、決して口からものを与えてはならない。意識不明の場合は、回復体位にし、医師に相談する。気道を開いた状態に維持する。

予想される急性症状、遅発性症状の最も重要な徴候症状：

深刻な眼刺激を引き起こします。有害症状には以下の症状が含まれる：痛み及び刺激、涙目、発赤。有害症状には以下の症状が含まれる：吐き気または嘔吐、頭痛、眠気/疲労、浮動性のめまい/回転性のめまい、意識不明。呼吸器への刺激のおそれ。生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い。中枢神経系に影響を与えることがある。有害症状には以下の症状が含まれる：吐き気または嘔吐、頭痛、眠気/疲労、浮動性のめまい/回転性のめまい、意識不明。長期または繰り返しの暴露により造血系に損傷を与えます。長期または繰り返しの暴露により肝臓、呼吸器系、脾臓に損傷を与える可能性があります。

必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示：

症状が見られた場合は、医師に連絡してこの SDS シートを渡すこと。

セクション 5: 火災時の手段

消火剤：

適切な消火剤：ドライケミカル、CO2、水スプレー（霧）または泡を使用する

不適切な消火剤：ウォータージェットを使用しない。直接水を噴射すると火災が広がる可能性があります。

特有の危険有害性：

引火性の高い液体および蒸気。

熱、火花、炎によって容易に引火する。。蒸気が空気と爆発性混合物を形成するおそれ。蒸気は遠く離れた発火源に到達して逆火するおそれがある。ほとんどの蒸気は空気より重いです。それらは地面に沿って広がり、低い場所や閉鎖された場所（下水道、地下室、タンク）に集まります。屋内、屋外又は下水溝で蒸気爆発の危険がある。下水道への流出は、発生源から下流で火災や爆発の危険を引き起こす可能性があります。高熱により容器が爆発するおそれがある。多くの液体は水より軽い。

危険有害な分解生成物： 二酸化炭素、一酸化炭素。

消火活動を行う者の保護具及び予防措置：

露出した容器を冷却するには、水スプレーまたは霧を使用します。火災時と同様に、プレッシャデマンド型自給式呼吸器、MSHA/NIOSH(承認済みまたは同等品)および完全防護服を着用する。緊急時以外の人員は全員、その場所から避難してください。火災時には、炭素酸化物などの刺激性物質が放出されることがあります。さらに、状況に応じて他の適切な保護具を着用してください（セクション 8 を参照）。

セクション 6: 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：

人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。こぼれやもれが起きている場所から関係者以外を遠ざけ、風上に避難させる。清掃中は適切な保護具および防護服を着用する。適切な保護衣を着用せずに、壊れた容器または流出物に触らない。密閉された場所に立入る時は、事前に換気する。環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。危険性と予防措置に関する追加情報については、セクション 2 および 7 を参照してください。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：

	安全データシート	
SatPax® 70% IPA / 30% DI H2O or WFI	2024年5月30 日	ページ5の11

安全にできる場合は、流出/放出を止めてください。流出した物質が下水道、雨水排水溝、その他の許可されていない排水システム、および自然水路に流入するのを防ぎます。水上で流出した場合は、関係当局に通知してください。

少量の漏出：物質を掃除機で吸い取るか掃き集め、指定されたラベルの付いた廃棄物容器に入れてください。認可を受けた廃棄物処理業者を通じて処分してください。

大量の漏出：危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。火花防止工具および防爆装置を使用してください。放出現場には風上から近づくこと。下水溝、水路、地下室または密閉された場所への侵入を防止する。漏出物を廃水処理施設に洗い流すか、または以下の指示に従う。本製品がこぼれたら、砂、土、パーミキュライト、珪藻土等の非可燃性の吸収剤でこぼれを封じ込めた後、容器に集め、現地法に基づき廃棄する（セクション13を参照）。認可を受けた廃棄物処理業者を通じて処分してください。漏出物を吸い取った吸収剤は、漏出した製品と同じ危険性を引き起こすことがある。

注意：緊急連絡先情報についてはセクション1を、廃棄物処理についてはセクション13を参照してください。

セクション 7: 取扱い及び保管上の注意

安全取扱注意事項:

適切な個人保護具を使用すること（セクション8を参照）。摂取してはならない。眼、皮膚および衣類に触れないようにする。換気が十分な場所でのみ使用する。十分な換気がない限り、保管場所および密閉された空間に入らないこと。使用しないときは元の容器又は適合素材で作られた認可済みの代替容器に入れ、密閉して保存する。熱、火花、炎、その他の発火源から離れた場所で保管ならびに使用する。火花を発生させない工具を使用すること。容器が空でも製品の残留物が残存していて有害危険性がある。容器を再利用してはならない。飲食、喫煙をする前、又は作業場を離れる際には、石鹼で手及び露出した部分を洗うこと。汚染された衣服を作業場から持ち出さないこと。汚染された衣類は再使用する前に洗ってください。

保管:

適切な保管条件:

現地の法規制に従って保管する。隔離され認定された場所に貯蔵する。元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質（セクション10を参照）および飲食物から離して保管する。施錠して保管すること。引火源を除去すること。酸化性物質に近づけない。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。ラベルのない容器に保管してはならない。環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。

安全な容器包装材料:

利用可能なデータなし

セクション 8: ばく露防止及び保護措置

職業暴露限界値と生物学的限界値:

ケミカルコンポーネント	CAS 番号	職業暴露限界
イソプロピルアルコール	67-63-0	日本産業保健学会（日本, 5/2020）. 400 ppm, 980 mg/m ³ (TWA)

設備対策:

	安全データシート	
SatPax® 70% IPA / 30% DI H2O or WFI	2024年5月30 日	ページ6の11

換気率は、条件に一致する必要があります。該当する場合は、使用プロセスエンクロージャ、局所排気装置、または他の技術的な管理下の空中浮遊レベルを維持暴露限界を推奨します。暴露限界が確立されていない場合は、許容できるレベルに空中レベルを維持します。洗眼ステーションを設置する。洗眼器と緊急シャワーの設置が推奨されます。

職場における有害物質の濃度は、認められた試験方法に従って監視する必要がある。作業環境における有害要因のテストおよび測定の方法、モード、方法、タイプ、頻度は、地方/地域/国の法律の要件を満たす必要があります。

個人の保護措置:

呼吸器の保護: 危険性と暴露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側面を確実にすること。リスク評価により呼吸器が適切であると判断された場合は、工学的制御のバックアップとして有機蒸気呼吸器を使用します。NIOSH（米国）や CEN（EU）などの適切な政府規格に基づいて評価および承認された呼吸器およびコンポーネントを使用してください。

目の保護:安全メガネ、サイドシールド付き安全メガネ、または安全ゴーグルを着用してください。NIOSH/現地の基準に従って評価および承認された目の保護用の機器を使用してください。

皮膚及び身体の保護具: 作業員の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならず、さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。静電気から引火する可能性がある場合には、帯電防止防護服を着用しなければならない。静電放電から最大限に保護するためには、保護具に帯電防止オーバーオール、長靴および手袋が含まれていなければならない。

手の保護具: リスク評価によって必要とされる場合は、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。手袋製造業者により特定されたパラメータを考慮して、手袋の使用中に手袋がまだ保護性を維持しているかを確認すること。あらゆる手袋の材料は製造業者が異なれば透過時間も異なる可能性があることに注意する必要がある。

その他の保護具:

化学製品の取り扱い後は、食事、喫煙、およびトイレの使用前、さらに作業時間の最後に、両手、両腕の肘から手首までの部分、また顔を十分に洗う。汚染された可能性のある衣類を取り除く際には、適切な技術を用いる。汚染された衣類は、再着用の前に洗濯する。作業場所の近くに洗眼スタンドと安全シャワーが設置されていることを確認する。

セクション 9: 物理的および化学的性質

化学物質の外観（例：物理的状态や形、色）:

物理的状态:	リキッド。[固形物を含む液体（湿らせたワイパー）]
色:	無色の液体を含む白色基質
臭い:	消毒用アルコール
臭気限界:	利用不可。
pH:	7
融点/凝固点:	利用不可。
沸点、初留点および沸騰範囲:	利用不可。
引火点:	18 C - クローズドカップ。
蒸発率:	利用不可。
燃焼性（固体、気体）:	非常に可燃性の高い液体および蒸気。
可燃限界/爆発下限界及び爆発上限界:	

SatPax[®] 70% IPA / 30% DI H₂O
or WFI2024年5月30
日

ページ7の11

より低い(%):	2
アッパー(%):	12.7.
蒸気圧:	利用不可。
蒸気密度:	利用不可。
比重（相対密度）:	利用不可。
溶解度:	水に溶けない
n-オクタノール/水分配係数:	利用不可。
自然発火温度:	399 C
分解温度:	利用不可。
粘度(粘度係数):	利用不可。

セクション 10: 安定性及び反応性

反応性

推奨される保管および取り扱い条件下では反応しません。

化学安定性

推奨される保管および取り扱い条件下で安定。

危険反応

推奨される保管および取り扱い条件下では危険な反応は予想されません。

避けるべき条件

全ての着火源(炎、火花、)を除去すること。加圧、切断、溶接、ろう付け、はんだ付け、穴あけ、研磨、または容器を熱または発火源にさらさないでください。

互換性のない素材

強酸化剤。

危険分解生成物:

火災時には、一酸化炭素、二酸化炭素などの刺激性および毒性物質が放出されます。

セクション 11: 有害性情報

様々な毒物学的（健康）影響とその影響を特定するために利用可能なデータ:

I 可能性のある暴露経路（吸入、摂取、皮膚および眼への接触）に関する情報:

予想される侵入経路: 皮膚接触。眼接触。吸入。摂取。

物理的、化学的、および毒物学的特性に関連する症状:

目の炎症を起こす。有害症状には以下の症状が含まれる: 痛み及び刺激、涙目、発赤。呼吸器への刺激のおそれ。中枢神経系に損傷を引き起こします。有害症状には以下の症状が含まれる: 吐き気または嘔吐、頭痛、眠気/疲労、浮動性のめまい/回転性のめまい、意識不明。

短期および長期の曝露による遅発性および即時性の影響ならびに慢性的な影響:

Berkshire	安全データシート	
SatPax® 70% IPA / 30% DI H2O or WFI	2024年5月30 日	ページ8の11

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。長期または繰り返しの暴露により造血系に損傷を与えます。長期または繰り返しの暴露により肝臓、呼吸器系、脾臓に損傷を与える可能性があります。

経口摂取毒性: 知られていない。

肌との接触: 知られていない。

吸収: 知られていない。

吸入した場合: 呼吸器への刺激のおそれ。

アイコンタクト: 目の炎症を起こす。

呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器感作を引き起こすとは考えられていません。皮膚感作またはアレルギー反応を引き起こすとは予想されていません。

変異原性: ヒト生殖細胞に遺伝性変異を引き起こすとは考えられていません。

発がん性: がんを引き起こすとは考えられていません。

生殖毒性: 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。

標的臓器への特定の毒性単回暴露: 一度の暴露で臓器（呼吸器系、中枢神経系）に損傷を引き起こします。

標的臓器への特定の毒性反復暴露: 長期にわたる、または繰り返しの暴露により臓器（造血系、肝臓、呼吸器系、脾臓）に障害を引き起こします。

誤嚥の危険性: この製品を飲み込んだ場合、吸引による危険性はないと予想されません。

毒性の数値的尺度（急性毒性推定値など）:

物質	テスト(生物種)	用量
イソプロピルアルコール	LD50 経口(ラット)	5840 mg/kg
	LD50 経皮(うさぎ)	13900 mg/kg
	LC50 吸入(ラット)	> 10000 ppm 6h

セクション 12: 環境影響情報

生態毒性:

物質	テスト	生物種	用量
イソプロピルアルコール	LC ₅₀	フィッシュ- <i>Pimephalespromelas</i>	10000 mg/L 96 h
	EC ₅₀	無脊椎動物- <i>Daphnia magna</i>	> 10000 mg/L 48 h
	NOEC	藻類- <i>Scenedesmusquadricauda</i>	1800 mg/L 7d

	安全データシート	
SatPax® 70% IPA / 30% DI H2O or WFI	2024年5月30 日	ページ9の11

持続性及び分解性:
利用可能なデータなし。

生物濃縮の可能性:
イソプロピルアルコール - LogPow = 0.05 低電位

土壌内移動性:
利用可能なデータなし。

オゾン層への危険性:
知られていない。

セクション 13: 廃棄上の注意

残余廃棄物:
化学廃棄物の発生者は、廃棄された化学物質が有害廃棄物に分類されるかどうかを判断する必要があります。認可を受けた廃棄物処理業者を通じて処分してください。連邦、州/地方、地方自治体の規制に従って廃棄してください。

汚染された包装
製品の残余物が残っているかもしれないので、容器が空になった後もラベルの警告に従う。空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、承認された廃棄物処理施設に運ばなければならない。

セクション 14: 輸送上の注意

道路、鉄道または内陸水路による危険物国際輸送 (ADR) :
UN 3175、可燃性液体を含む固体、その他の危険物 (イソプロピルアルコール)、4.1、II

IMDG (海上輸送)
UN 3175、可燃性液体を含む固体、その他の危険物 (イソプロピルアルコール)、4.1、II

IATA (国のバリエーションが適用される場合があります)
UN 3175、可燃性液体を含む固体、その他の危険物 (イソプロピルアルコール)、4.1、II

数量限定情報:

アジア太平洋: 限定数量として出荷できます。材料を出荷する前に、適用されるすべての国内規制を確認してください。

IMDG: 1 kg 以下の内装容器で輸送する場合、総重量 30 kg を超えないパッケージで輸送する場合、限定数量として出荷できます。詳細については、IMDG コードのセクション 3.4 を参照してください。

IATA: 0.5 kg 以下で、パッケージあたりの正味総量が 5 kg 以下である内装容器で輸送する場合、限定数量として出荷できます。詳細については、セクション 2.7 および適切な梱包指示を参照してください。材料を出荷する前に、すべての州およびオペレーターの変更を確認してください。

特約のご案内:
適用できない

	安全データシート	
SatPax[®] 70% IPA / 30% DI H2O or WFI	2024年5月30 日	ページ10の11

海洋汚染物(Y/N): いいえ

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質:
適用できない

特別な注意事項
追加情報なし。

セクション 15: 適用法令

このセクションでは安全データシートが適用される地域/国において、特定の化学物質に適用される法律の名前などを含む情報を提供する。法律に関連する規制およびその他の適用される法律の名称に関する情報が含まれる:

日本の労働安全衛生法

化学品の名称	CAS 番号	労働安全衛生法
イソプロピルアルコール	67-63-0	現在2-(8)-319

日本の既存化学物質および新規化学物質のインベントリ (ENCS)

化学品の名称	CAS 番号	既存および新規化学物質
イソプロピルアルコール	67-63-0	2-207

日本- 化審法(CSCL) -優先評価化学物質

化学品の名称	CAS 番号	優先評価化学物質
イソプロピルアルコール	67-63-0	物質管理番号102 ([(2)-207])

Japan - Fire Service Law

化学品の名称	CAS 番号	消防法
イソプロピルアルコール	67-63-0	グループ 4 可燃性液体; アルコール - 可溶性; 危険度ランク II 400 L TQ (アルコールに分類)

日本の汚染物質放出および移転登録法 (PRTR)
イソプロピルアルコール記載されていない。

日本の毒物及び劇物取締法
イソプロピルアルコール記載されていない。

セクション 16: その他の情報

	安全データシート	
SatPax[®] 70% IPA / 30% DI H2O or WFI	2024年5月30 日	ページ11の11

初期バージョン:2024年5月30日

改訂番号: 1

分類を導出するために使用される手順:

日本の GHS 分類リスト

https://www.nite.go.jp/chem/english/ghs/ghs_nite_all_fy_e.html.

免責事項: ここに含まれる製品情報は、安全データシートの日付の時点で正確であると考えられており、この情報またはそれに関連する製品の使用結果に関して、明示または黙示を問わず、保証なしで提供されています。受領者は、この情報の使用、および製品の使用(単独または他の製品と組み合わせて)、保管または廃棄について、結果として生じる人身傷害または物的損害を含め、すべての責任を負うものとします。